

# 中華人民共和国の小学校理科教科書の構成とその概要 —北京市で使用されている第3学年用教科書を事例にして—

○吉田瑛<sup>A</sup>，松森靖夫<sup>A</sup>

YOSHIDA You，MATSUMORI Yasuo

山梨大学大学院教育研究科<sup>A</sup>

【キーワード】小学校理科教科書，中華人民共和国，理科カリキュラム，比較教育

## I. 問題の所在

近年行われた中華人民共和国（以下，中国と略記）の理科カリキュラム改革では，知識・技能の詰め込み重視を改め，「知識と技能」，「過程と方法」，「情感態度と価値観」を重視し，全国民の科学的素養の向上が謳われている<sup>1)</sup>。

北京教育学院の孟氏は，現在の中国の理科教科書に関して，「内容については，『難しく，複雑で，偏りがあり，古い』及び本の知識を重視しすぎる状況を改め，子どもの生活と現代社会や科技発展との関連を強化した。特に子どもの学習への興味と経験に注目し，生涯学習に必要な基礎・基本知識と技能に関連する内容を精選している。2)」と述べている。

しかしながら，大きな変貌を遂げた中国の小学校理科教科書の具体的内容については，日本においてほとんど紹介されていない。また，二国間の文化的・社会的背景は異なるが，中国の小学校理科教科書の構成・内容等を詳細かつ具体的に把握することは，日本の小学校理科教科書，もしくは現行の小学校理科教育を再考するための一資料になるものと考えられる。

そこで本研究では，特に理科カリキュラム改革の先導的立場にある北京市<sup>3)</sup>で使用されている小学校理科教科書（以下，理科教科書と略記）を取り上げて，その単元や内容構成等を概観する。

既に，小学校第4～6学年用教科書の構成とその概要については，報告済みであり，本稿では，小学校第3学年用教科書を中心に報告する。

## II. 第3学年用理科教科書の概要

図1は，第3学年用理科教科書の大単元「地下資源」の小単元「石油と天然ガス」の頁の一部を抜粋したものである。なお，詳細については，発表時に報告する。

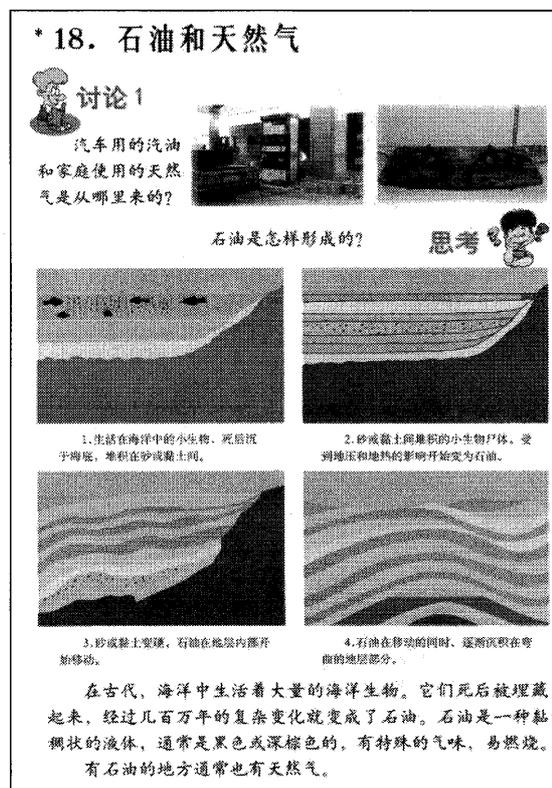


図1. 科学第3冊大単元「地下資源」（一部抜粋）<sup>4)</sup>

### 参考・引用文献

- 1) 2) New Insights on Science Education in Asian Countries and Areas—Korea, China(Beijing, Hong Kong, Shanghai), Taiwan and Singapore—(2010): Proceedings of the Symposium at the 60<sup>th</sup> Annual Meeting of the Society of Japan Science Teaching, p.9.
- 3) 橋本健夫ほか編(2010)『現代理科教育改革の特色とその具現化』p.179, 東洋館出版社.
- 4) 北京教育科学研究院(2010)『科学(北京市義務教育課程実験教材)第2冊(3学年第2学期)』p.64, 首都師範大学出版社.